

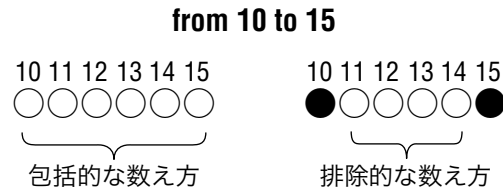
❖「包括的な数え方」と「排除的な数え方」

もし、私が“from 10 to 15”と言ったら、これには具体的にどんな数（自然数に限定します）が含まれるでしょう？

驚かないでください。この質問に対する答えは一つではないのです。

まず、10から15までが含まれるというのが、日本人であるみなさんのふつうの考え方でしょう。確かにそれも正解です。しかし一方で、その10と15を除外する考え方もあるのです。

この最初の数え方は「包括的な数え方」(inclusive counting)、2番目の数え方は「排除的な数え方」(exclusive counting)として知られています。包括的に数えれば、10と15が含まれるでしょうし、排除的に数えれば、11から14までは含まれますが、10と15は含まれないことになります。



これら2つのタイプの数え方は、ネイティブスピーカーにとってもやっかいな問題となっていますから、外国人学習者にとっては、なおさら困難が予想されます。

“from 10 to 15”の例で言えば、ふつうの解釈は、包括的に数える（つまり10と15が含まれる）というものです。しかし、“from 10 to 15, inclusive”あるいは“10 through 15”と言うことによっては、これをはっきりさせることもできます。

❖いったい、いつからいつまでか？

しかしながら、これがどうやってもはっきりしない場合もいくつかあるのです。もし私が、

“The summer holiday is from the seventh to the twenty-fifth.”

と言ったら、これは7日と25日も休日ということになるのでしょうか？ つまり、「7日に仕事が終わった後、休暇に入ることができる」ということなのでしょうか？あるいはまた、「7日は休日だから、その日は仕事に行かなくていい」のでしょうか？また、「25日は丸一日休日」であるのか「休日は25日の早朝で終わり、その日の始業時間から仕事を始めなければならない」のでしょうか？

英語は、この点について非常に不明瞭で、あいまいです。ネイティブスピーカーの間でも解釈が異なるくらいなのです。他方、同じ内容を日本語で表現したら、混乱が起こることはまったくないと思います。

「夏休みは7日から25日までです」

この文では、7日と25日を夏休みに含めることは明らかです。同じような例として、もし私が、

“I was in Osaka from the twentieth to the twenty-fifth.”